

NEWS RELEASE

【報道関係各位】

2020年12月9日
一般財団法人 日本気象協会日本気象協会 2021年 春の花粉飛散予測(第2報)
～スギ花粉シーズンのスタートは例年並み 早い所では2月上旬から～

◆2021年 春の花粉飛散予測のポイント (2020年12月9日 発表)

- ・スギ花粉の飛び始めは、全国的に例年並み
- ・飛散量は、広い範囲で例年より少なく、九州は非常に少ない
- ・九州から関東は前シーズン(2020年春)と比べると飛散量が非常に多い所も

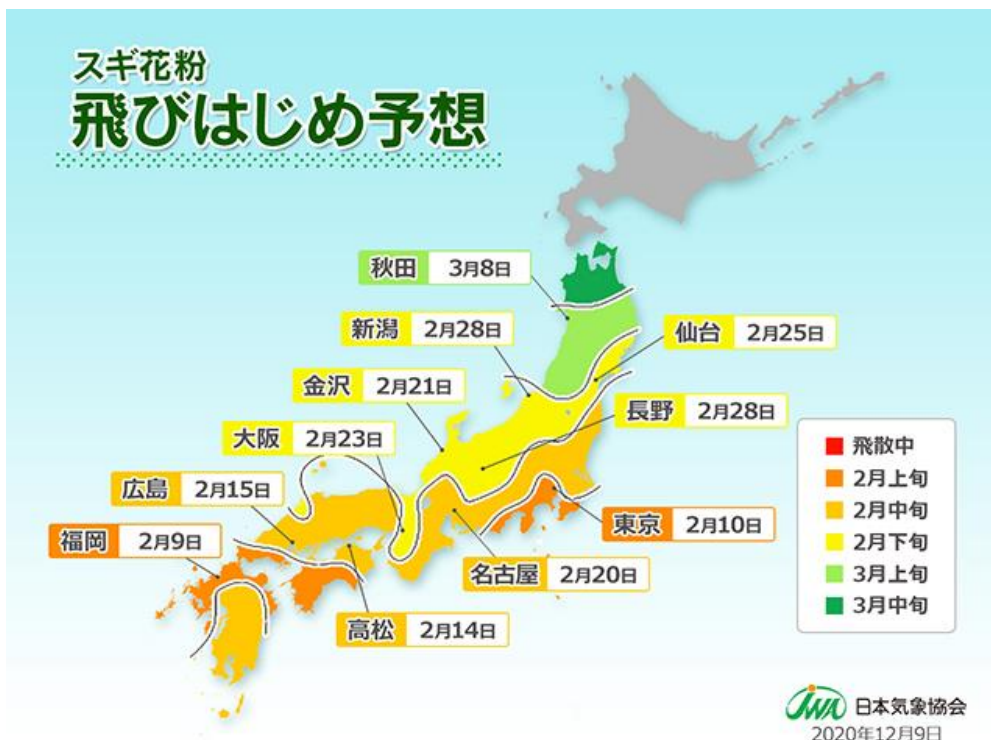
一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、理事長:長田 太)は、2020年12月9日(水)に全国・都道府県別の2021年春の花粉(スギ・ヒノキ、北海道はシラカバ)飛散予測(第2報)を発表します。また、詳細な情報を、「2021年春の花粉総飛散量 予測資料」として販売します。

1. スギ花粉の飛散開始時期

スギ花粉の飛散開始*は、九州から東北まで例年並みとなるでしょう。2月上旬に九州や四国、関東地方の一部から花粉シーズンがスタートする見込みです。

2021年の1月、2月は西日本と東日本の平均気温は平年並みか低いでしょう。北日本は平年並みか高いものの、冬らしい寒さにより休眠打破が順調に行われて、スギ花粉の飛散開始は各地で例年並みとなる見通しです。

スギ花粉は、飛散開始と認められる前からわずかな量が飛び始めます。2月上旬に飛散開始が予測される地域では、1月のうちから早めに花粉対策を始めるとよいでしょう。

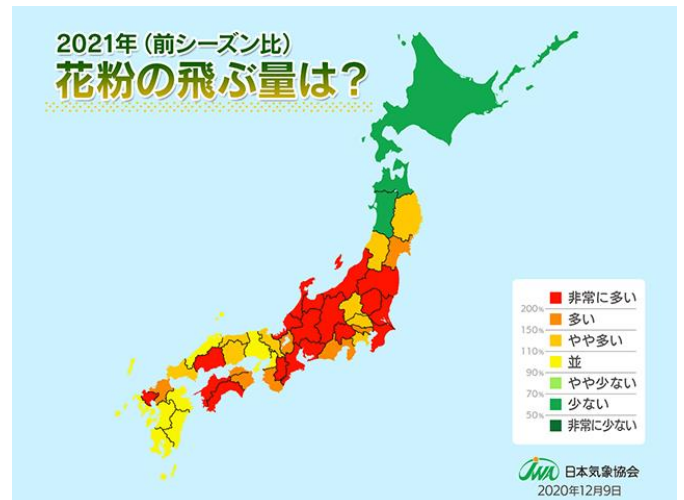
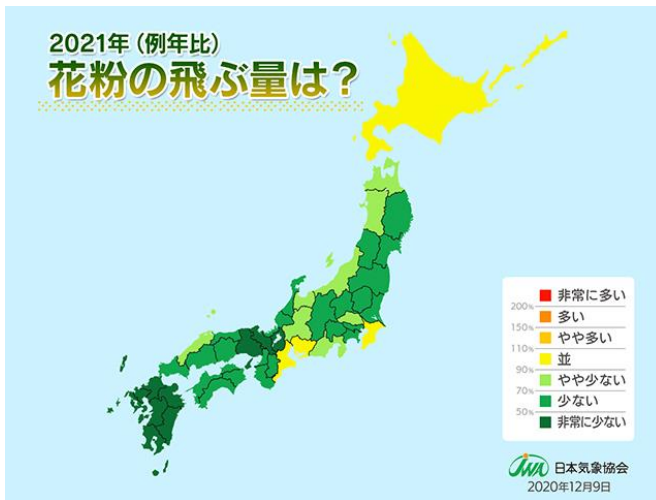


※飛散開始日

1 平方センチメートルあたり 1 個以上のスギ花粉を 2 日連続して観測した場合の最初の日

2. 花粉飛散傾向

2021 年春の花粉飛散傾向予測は、九州から近畿、関東、東北の広い範囲で例年より少ない見込みです。特に、九州は例年と比較して非常に少なく、近畿でも非常に少ない所があるでしょう。東海と北海道は例年並みの予想です。一方、前シーズン比（2020 年春との比較）で見ると、九州から関東にかけて多く、四国や東海、北陸、関東の所々で非常に多くなる予想です。これは前シーズンが例年より非常に少ない、または少なかったためであり、前シーズンに花粉症の症状が弱かった人も 2021 年春は注意が必要です。東北北部や北海道は前シーズンより少なくなるでしょう。



3. スギ花粉のライフサイクル

スギ花粉は 1 年間を通じて、生長・形成・開花を経て、花粉を飛散します。飛散した花粉からまた生長が始まります。



4. 飛散量の予測根拠

花粉の飛散量は前年夏の気象条件が大きく影響します。気温が高く、日照時間が多く、雨の少ない夏は花芽が多く形成され、翌春の飛散量が多くなるといわれています。

日本気象協会では、気象データに加え、前シーズンの花粉飛散結果や今後の気温予測などの気象データ、および全国各地の花粉研究会や協力機関からの情報、花芽調査の結果などをふまえて予測しています。花芽調査では、スギやヒノキなどの植物に詳しい「植物のプロ」や、花粉の研究に長年携わっている学識者の協力を得ながら、その土地の気候や地形を知る「気象のプロ」による定点観測を重視しています。



東京都青梅市のスギ花芽
(11月18日撮影)



京都市西京区のスギ花芽
(11月22日撮影)

4. 各地域の花粉飛散傾向

地方	飛散量				2020年夏の気象		
	例年比	地方平均値	前シーズン比	地方平均値	気温	降水量	日照時間
北海道	例年並	100%	少ない	60%	高い	平年並	平年並
東北	少ない	60%	前シーズン並	90%	高い	多い	平年並
関東甲信	少ない	60%	多い	180%	かなり高い	かなり多い	平年並
北陸	やや少ない	70%	非常に多い	270%	高い	かなり多い	少ない
東海	例年並	90%	非常に多い	230%	かなり高い	かなり多い	平年並
近畿	少ない	50%	やや多い	140%	かなり高い	かなり多い	平年並
中国	少ない	50%	やや多い	120%	高い	かなり多い	平年並
四国	少ない	60%	非常に多い	210%	高い	多い	平年並
九州	非常に少ない	30%	やや多い	120%	高い	かなり多い	平年並

【花粉の種類について】

北海道はシラカバ、その他はスギ・ヒノキ花粉の飛散量を表します。



【飛散量に関する言葉の説明】

非常に多い	: 前シーズン (例年) の 200% 以上
多い	: 前シーズン (例年) の 150% 以上 200% 未満
やや多い	: 前シーズン (例年) の 110% 以上 150% 未満
前シーズン(例年)並	: 前シーズン (例年) の 90% 以上 110% 未満
やや少ない	: 前シーズン (例年) の 70% 以上 90% 未満
少ない	: 前シーズン (例年) の 50% 以上 70% 未満
非常に少ない	: 前シーズン (例年) の 50% 未満

前シーズン	: 2020 年シーズン飛散量
例年	: 過去 10 年(2011～2020 年)の平均値

【2020 年夏の気象に関する言葉の説明】

平年	: 1981～2010 年の平均値
----	-------------------

◆日本気象協会の花粉飛散予測とは

日本気象協会は 1990 年からスギ花粉の飛散予測を発表しています。日本気象協会の花粉飛散予測は前シーズンの花粉飛散結果や今後の気温予測などの気象データをもとに、全国各地の花粉研究会や協力機関からの情報、花芽の現地調査の結果などをふまえて予測しています。

- ・本情報の無断での法人利用(プレスリリースでの引用や販促目的使用など)はご遠慮いただいております。
商品 PR などで法人利用をご検討の際はお問合せフォーム(<https://www.jwa.or.jp/contact/>)からご連絡をお願いします。

以上